

サステナビリティ担当役員メッセージ

チーフ・サステナビリティ・オフィサー メッセージ

取締役専務執行役員 CFO 兼 CISO 兼 CSusO

後藤 芳光



いまだ収束の見通しが不透明な新型コロナウイルスの感染拡大や、近年の世界的な異常気象による自然災害の増加など、グローバルリスクが顕在化する中、企業におけるESGへの取り組みはますます重要性を増しています。

ソフトバンクグループ株式会社は、こうした重要性を認識し、ESGへの取り組みをさらに強化するため、2020年度に社内基盤の構築を行うとともに情報開示の拡充を進めました。2020年6月に私がチーフ・サステナビリティ・オフィサー（CSusO）に就任し、サステナビリティ委員会が新設されて以来、グループ各社が個々に進めてきたESGの取り組みを改めて経営レベルで議論し、ソフトバンクグループ全体としてのポリシーや目標策定に着手しました。

環境面においては、当社の主要子会社が、自然エネルギー事業の拡大や、温室効果ガス排出量の削減目標の設定など、気候変動対策としての積極的な取り組みを打ち出しています。当社としても、より具体的な取り組みに着手すべき時期と捉えており、2020年度はカーボンニュートラルに組みこみこれを達成しました。今後は、気候関連のグループ目標の設定をはじめ、より一層の取り組みを進めながら、グループ全体で環境への負荷を軽減していきます。

また投資会社としての重要な取り組みとしては、2021年5月に、当社グループのESG観点での企業価値向上への取り組みを投資プロセスに明確に組み込むべく、「ポートフォリオ会社のガバナンス・投資指針に関するポリシー」を改定し、環境・社会要素に起因する機会とリスクの評価も、投資判断や投資後のモニタリングに活用するよう明文化しました。当社が投資家の皆さまをはじめとするステークホルダーの期待と要請に応え、ESGの取り組みを強化するとともに、当社が投資先に対してESGの取り組みを主体的に促していくことは、社会全体の持続的発展とともに当社グループの持続的成長にも大きく寄与すると考えています。今後は、各投資子会社で機会とリスクを評価するための具体的な運用計画の策定を行ってまいります。

当社のESGは、今後、目標やポリシーを実現するための具体的なプロセスを検討するステージに入っていきます。非財務情報の開示をさらに拡充するとともに、われわれの取り組みの進捗を投資家をはじめとするステークホルダーの皆さまに適宜報告できるよう、グループ全体でESGの取り組みの強化を進めていきます。

免責事項

本レポートは、当社グループに関する関連情報を提供するものであり、全ての法域において、いかなる証券の購入または応募の申込みを含む、いかなる投資勧誘を構成、または形成するものでもありません。

本レポートには、当社グループの推定、予測、目標および計画を含む当社グループの将来の事業、将来のポジションに関する記述など、当社グループの将来の見通しに関する記述、見解または意見が含まれています。当社グループおよびその経営陣は、これら将来の見通しに関する記述に明示されている予想が正しいものであることを保証するものではなく、実績や成果は、予想と著しく異なる可能性があります。

お問い合わせ先

ソフトバンクグループ株式会社
<https://group.softbank/contact>



ソフトバンクグループ株式会社

<https://group.softbank/>

Copyright © 2021 SoftBank Group Corp. All Rights Reserved.

